

# キンダーブック1 2月号



表紙の  
絵から

豆まきをしたり、大きな恵方巻を食べたりしているぶたさんたち。「鬼は外、福は内」の元気な声が聞こえてきそうですね。裏表紙では、節分でつかう物や食べる物を紹介しています。「恵方巻きを食べたことはある?」「鬼はいわしのにおいが苦手なんだね」などと話し、興味を引きだしてください。

## こまっている こが いたら...



せいかつ  
生活習慣を  
身につけよう

ねらい 小さい子との関わりをとおして、自分の成長を感じましょう。



「泣いている小さい子を見かけたら、どうしたらいいのかな?」と尋ねてみましょう。泣いているぼこちゃんに、にゃんたくんたちはどんなことばをかけるのか、みんなで考えましょう。

声をかけてもらったぼこちゃんの表情が変わったことに注目し、「どうして泣きやんだのかな?」と質問してみましょう。「にゃんたくんたち、やさしく声をかけてあげたね」「手をつないでいるね」と話し、ふたりの行動に気づかせてください。



やさしくしてもらって、うれしそうなおぼこちゃんに着目してください。「ぼこちゃんは、どんな気持ちかな?」「にゃんたくんたち、頼もしいね」などと伝え、自分たちがお兄さん、お姉さんとしてどんなことができるか話し合ってもよいですね。



## さむくても げんき!



かんざつ  
身近な不思議を  
知ろう



ねらい 寒いところで暮らす動物のからだの特徴を知りましょう。

つかい方のポイント 北極に暮らすしろくまと、ほかのくまではどんな違いがあるか気づかせましょう。寒いところに白い動物が多いのは、氷や雪の背景に紛れられるからだと話してあげてもよいですね。

## おにやまさんの ドーナツ



おぼなし  
想像力を  
養おう



ねらい 怖い鬼だけでなく、やさしい鬼もいることに気づかせましょう。

つかい方のポイント 「甘い物が大好きな鬼さんもいるんだね」と話し、おにやまさんに親しみがもてるようにしましょう。「おにやまさんの変装が取れちゃったら、みんなはどうする?」「ドーナツを食べてみたい?」などと尋ね、お話の世界を楽しんでください。

## 「キンダーブック1」を 保育にご活用ください!



### 絵本をつかった指導計画の文例

| コーナー                      | 子どもが経験すること   | 保育者の配慮  | 5領域  |
|---------------------------|--|---|--|
| <p>「こまっている こが いたら...」</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>小さな子が困っていたら、どうするか考える。</li> <li>どんなふうに関わりをかけるか発表する。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>「泣いていたり、困っていたりする小さい子がいたら、どうしたらいいかな?」と尋ねる。</li> <li>お兄さん、お姉さんからやさしくしてもらったことがあるか、どんな気持ちだったか話す。</li> <li>小さい子にはどんなことばをかけたらいいか伝え合う。</li> <li>やさしい気持ちをほめ、成長を感じさせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係</li> <li>言葉</li> <li>表現</li> </ul> |
| <p>「なにをつかって たべる?」</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>食事に合わせて、食具を変えることを知る。</li> <li>何をつかうか食べやすいか、メニューごとに考える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな種類の食具があることを知らせる。</li> <li>料理によって食具を変えると食べやすくなることを伝える。</li> <li>それぞれの料理で「どれをつかうかな?」とクイズにしてみる。</li> <li>手で食べたほうが食べやすい物もあることを伝える。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康</li> <li>表現</li> </ul>               |